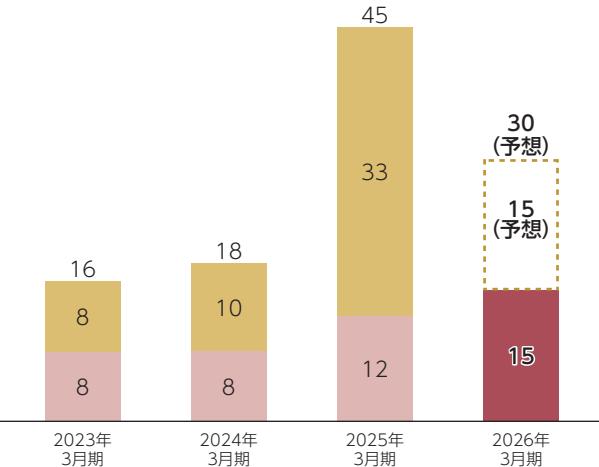


株主の皆様へ

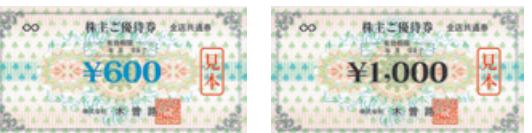
配当金の推移

■ 中間 ■ 期末 単位：円



株主優待のご案内

当社グループ全店でお食事・お土産類・お中元商品・お歳暮商品・おせちにご利用いただける「株主ご優待券」を贈呈いたします。



①100株以上500株未満	半期 1,600円相当 (年間 3,200円相当)
②500株以上1,000株未満	半期 8,000円相当 (年間16,000円相当)
③1,000株以上	半期 16,000円相当 (年間32,000円相当)

■対象となる株主様

毎年3月31日及び9月30日現在100株以上ご所有の株主様
※6月下旬と12月初旬にご送付いたします。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定期株主総会	6月下旬
基準日	定期株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座管理人	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本店で行っております。 (コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)
公告掲載新聞	日本経済新聞

お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託
銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出
ください。

第77期 中間株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日



ごあいさつ

持続的成長に向け、変化の時代に即した経営基盤の強化と、お客様に選ばれ続ける価値創造を追求します。

我が国経済は、緩やかな景気回復基調を維持しつつも、人口減少や人手不足、物価上昇などの構造的課題が続いております。世界的にはインフレの鎮静化が進む一方で、地政学リスクの長期化や為替変動、エネルギー価格の不安定さなど、依然として不確実性の高い環境が続いております。個人消費においては、実質所得の伸び悩みから支出の選別傾向が強まるなど、先行きは不透明な状況です。

外食産業におきましては、インバウンド需要の拡大や地域観光の回復により一定の活気を取り戻す一方で、原材料費や人件費の上昇、円安進行などの影響を受け、依然として厳しい経営環境が続いております。当社はこうした状況のもと、「より美味しい料理をお值打ちに真心を込めたサービスで提供し、多くのお客様に外食の楽しさを感じていただく」という基本理念を掲げ、顧客満足の向上と持続的な企業価値の創出に努めています。

接客・調理・店舗運営などの基本技術の向上、新メニューの導入、新業態への挑戦を継続するとともに、全社的な人材育成と組織力の強化を進めております。また、デジタル化を活用した予約・顧客管理体制の整備、働きやすい職場環境づくり、そしてSDGsをはじめとする社会的課題への取り組みを通じ、地域社会との共生と持続的成長を目指しております。

いかなる環境変化の中であっても、お客様に「外食ならではの温もりと楽しさ」をお届けし、信頼される企業であり続けるよう挑戦を重ねてまいります。

引き続き、株主の皆様にはより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 中川晃成

連結決算ハイライト

売上高	24,392百万円
経常損失	79百万円
親会社株主に帰属する 中間純損失	61百万円

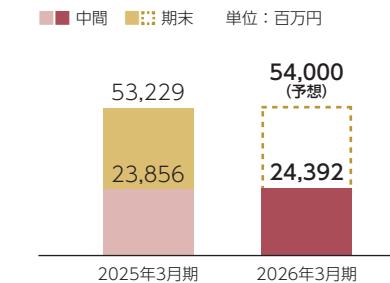
Point1

- 木曽路では北海道フェアや母の日・父の日企画など季節イベントを実施し、心温まるおもてなしを提供
- お食い初め・一升餅など慶事利用に対応し、社内マイスターによる上質な接客を継続
- 籠盛定食や選べるしゃぶしゃぶコース、サイドメニューの充実で客数・売上を拡大
- 第2の柱である焼肉部門では、アプリ活用や顧客管理手法の導入により営業力を強化

Point2

- 購買・調達の見直しや在庫・ロス管理の徹底により原価を低減
- 客数予測に基づくシフト管理を行い、人件費を適正化
- 光熱費の使用量削減や消耗品見直しにより経費を圧縮
- 働き方改革の一環として全店一斉休業を実施

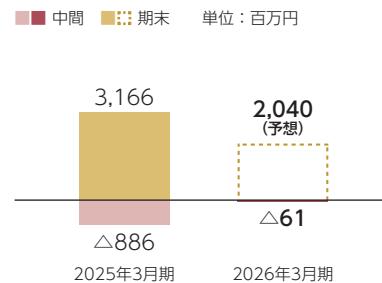
売上高



経常損益



親会社株主に帰属する中間（当期）純損益



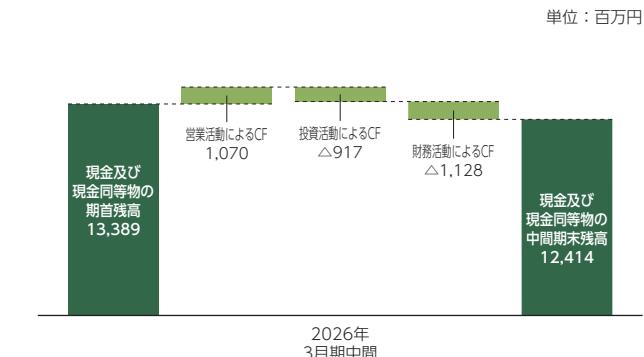
資産、負債・純資産の状況

資産の部		負債・純資産の部	
資産合計	46,781	負債・純資産合計	46,781
流动資産	19,503	流动負債	13,212
固定資産	27,278	固定負債	3,227
		純資産	30,341
		固定負債	3,135
		純資產	29,584

単位：百万円

2025年3月期 2026年3月期 中間

キャッシュ・フローの状況



部門別の概況

木曽路部門



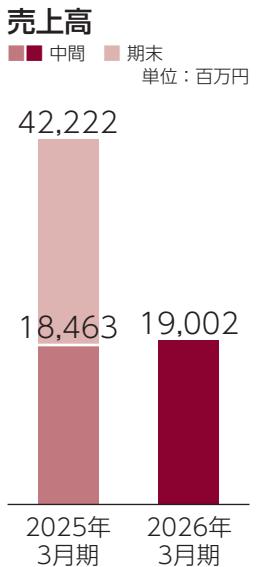
焼肉部門



売上高
19,002百万円
(前年同期比2.9%増加)
店舗数
126店舗

ポイント

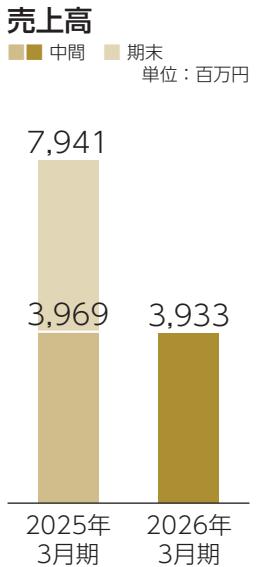
- ◆8店舗の改装
- ・季節イベントや「籠盛定食」、選べるしゃぶしゃぶコースで個人需要を拡大
- ・飲み放題付宴会や送迎バスで企業宴会を強化
- ・有機栽培コーヒーや季節のごはん、デザートの充実で客数・客単価を向上
- ・お子様のお祝いから慶事・祝事まで、最適なおもてなしと料理で幅広いニーズに対応



売上高
3,933百万円
(前年同期比0.9%減少)
店舗数
48店舗

ポイント

- ◆1店舗の出店
- ・アプリ会員を対象に、季節フェアやご家族向けイベントを実施し、来店客数を増加
- ・毎月29（にく）の日には、お値打ちな商品の提供により、お客様満足度を向上
- ・「大将軍」は堅調に推移した一方、「くいどん」は苦戦傾向



その他

居酒屋



鈴のれん



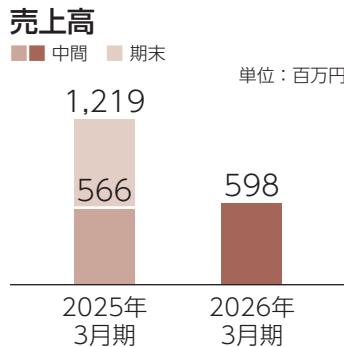
その他



売上高
598百万円
(前年同期比5.5%増加)
店舗数
9店舗

ポイント

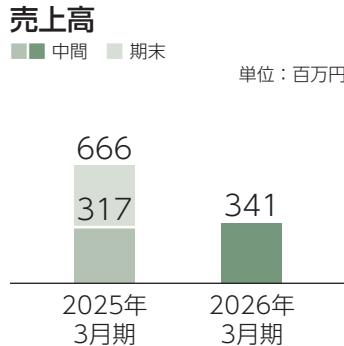
- ◆1店舗の出店
- ・宴会需要の回復により来店機会が増加し、客単価の上昇も寄与して売上が拡大



売上高
341百万円
(前年同期比7.3%増加)
店舗数
5店舗

ポイント

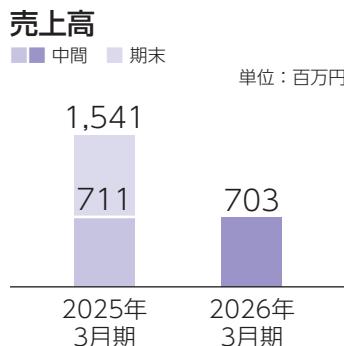
- ◆2店舗の改装
- ・屋号を「和食 しゃぶしゃぶ 鈴のれん」から「和食 料理処 鈴のれん」へ変更
- ・お値打ちな本格和食を提供し、ブランドイメージの向上を図る



売上高
703百万円
(前年同期比1.1%減少)

ポイント

- ◆その他業態は、食肉加工卸売、からあげ専門店「からしげ」、物販（しぐれ煮、胡麻だれ類）、不動産賃貸等を展開



■ 主な取り組み・トピックス

**しゃぶしゃぶ・日本料理
木曽路**

<「北海道祭り」開催>
2025年6月13日～8月20日まで、北海道の海の幸をテーマにした季節限定フェア「北海道祭り」を全国の木曽路店舗で開催いたしました。

毛がにや帆立、北海たこなど、北海道ならではの新鮮な食材を使用した多彩な御膳や一品料理を提供し、多くのお客様にご好評をいただきました。今後も、お客様に四季折々の日本の味をお楽しみいただけるよう、地域の食材や旬の食文化を取り入れたフェアを展開し、木曽路ならではの味と感動をお届けしてまいります。

**国産牛焼肉
くいどん**

<くいどん南陽店オープン>
2025年4月16日にくいどん南陽店をオープンいたしました。木曽路グループが展開する焼肉業態「くいどん」では、肉の職人が厳選した全国各地の国産牛を使用し、独自の下味と秘伝のたれで、素材本来の旨みを最大限に引き出した焼肉をご提供しています。国産牛にこだわった本格焼肉をお客様の多様なニーズにお応えできるよう、気軽に楽しめる食べ放題コースと、単品注文のどちらでもお楽しみいただけるメニュー構成としています。

**居酒屋
大穴**

<大穴高田馬場店オープン>
2019年4月に東京・人形町に1号店をオープンした「大穴」は、その後、八重洲、千葉、五反田、亀戸へと店舗を拡大し、2025年8月7日には6店舗目となる「高田馬場店」を新たにオープンいたしました。「街の活力源」をコンセプトに、誰もが気軽に立ち寄れる居心地の良い酒場として、多くのお客様よりご好評いただいております。

看板メニューの穴子料理をはじめ、ツマミ寿司や牛出汁おでんなど、手間を惜しまないこだわりの一品を取り揃え、仕事帰りの一杯からご友人ととの語らいまで、幅広いシーンでお楽しみいただけます。

木曽路グループ

<新たにお盆明けの店舗一斉休業を実施>
労働環境の改善に向けた取り組みの一環として、2019年より毎年、ゴールデンウイーク明けに店舗一斉連休を実施しております。さらに今年度からは、正月明けの一斉休業に加え、新たにお盆明けにも一斉休業を導入いたしました。

これらの取り組みにより、繁忙期に勤務した店舗従業員の心身のリフレッシュと慰労を図るとともに、働きやすい職場環境の整備を進めております。

今後も、従業員一人ひとりが安心していきいきと働く環境づくりを推進し、従業員満足の向上を通じて、お客様により一層ご満足いただける店舗運営を目指してまいります。

■ 会社情報・株式の状況 (2025年9月30日現在)

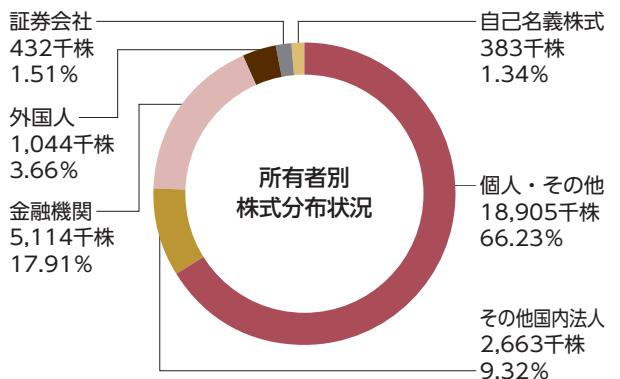
会社概要

社名(商号) 株式会社 木曽路
設立年月日 1952年9月30日
本社名古屋市昭和区白金三丁目18番13号
資本金 126億48百万円
従業員数 1,357名
主な事業内容 料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店を営業
東日本本部 東京都江東区東陽二丁目4番2号 新宮ビル5F
西日本本部 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号 江坂NKビル3F
名古屋工場 愛知県大府市一屋町三丁目36番地
千葉工場 千葉市中央区都町二丁目33番18号
守山工場 名古屋市守山区東禅寺213番地

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	28,543,889株
(うち自己株式)	383,925株
株主数	31,601名

株式分布状況



役員一覧

代表取締役会長 吉江源之
代表取締役社長 中川晃成
常務取締役 松岡利朗
常務取締役 大橋浩
取締役 中根昌秋
社外取締役 松井常芳
社外取締役 伊藤邦昭
取締役(常勤監査等委員) 新實曜子
社外取締役(監査等委員) 熊田登与子
社外取締役(監査等委員) 平野善得

ホームページのご案内

当社に関するより詳細な情報は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.kisoji.co.jp/>

木曽路 検索

